

福島市北信赤十字奉仕団の活動

福島市には、多くの仮設住宅が設置されています。現在福島市の仮設住宅に避難しているのは、浪江町、双葉町、飯舘村の住民の方々です。福島市内の赤十字奉仕団は、避難者を支援するため活発な活動を行っています。福島市北信赤十字奉仕団もその一つです。浪江町からの避難者が入居している宮代第一、第二仮設住宅や南矢野目仮設住宅を中心に活動を行っています。活動内容は、被災者間の交流を図るための「お茶会」や、編物などの手芸、ヨガ教室やレクリエーションなどの健康増進のための活動を行っています。

【編物教室】（活動報告からの抜粋）

2014年1月に編物教室でタワシ編みを行いました。編物が苦手な方もいましたが、一生懸命取り組んでいました。同時に、今年初めてののお茶会も開催しましたが、皆さんとてもお元気でした。



編物を行う宮代仮設住宅の入居者の皆さんと、福島市北信赤十字奉仕団の皆さん。

【お手玉作りと遊び】（活動報告からの抜粋）

2014年6月に、奉仕団員が日赤の研修会で教わったレクリエーションである、おかあさんの曲に合わせた踊りを実施しました。また、お手玉作りも昔を懐かしみながら作成し、でき上がったお手玉を使った遊びもしました。



お手玉で遊ぶ宮代仮設住宅の入居者の皆さんと、福島市北信赤十字奉仕団の皆さん。

